

プラットホームからの転落事故、列車との接触事故の防止を図ることを目的に、大阪モノレールでは、順次、可動式ホーム柵の設置を進めております。令和3年度(2021年度)は、柴原阪大前駅に可動式ホーム柵の設置をしました。

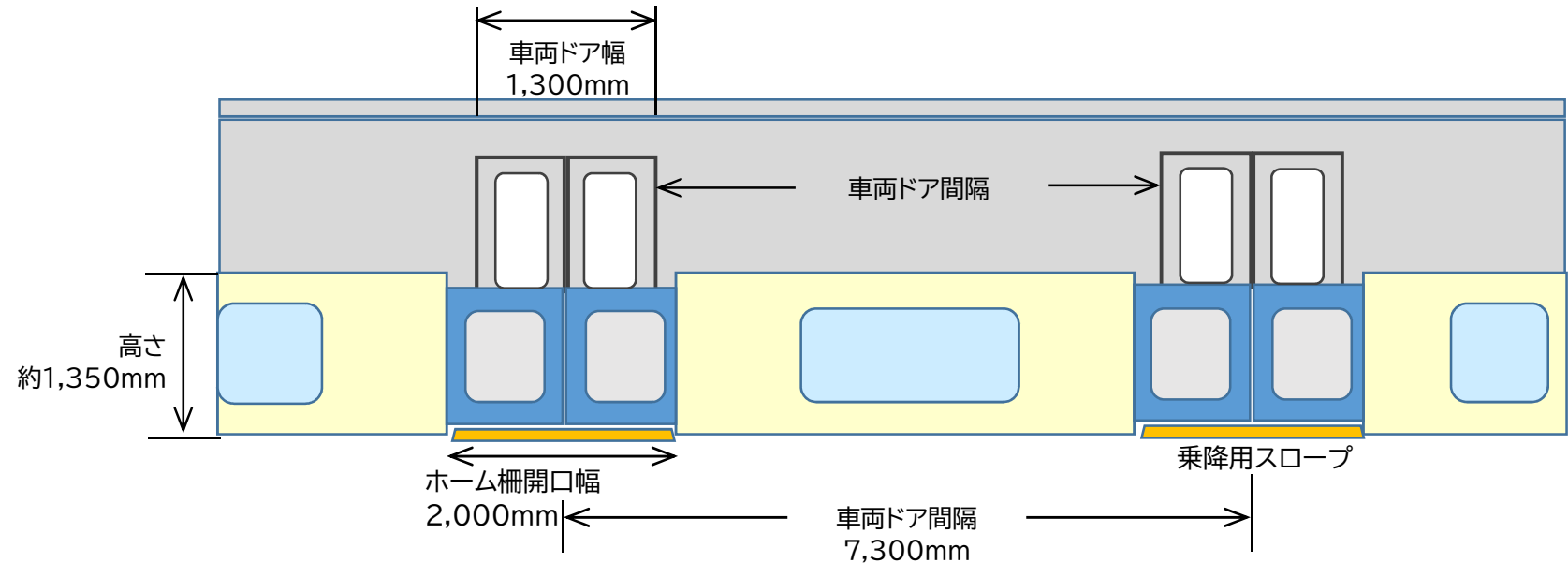
1. 現状

(1) 駅の現状

千里中央駅他16駅(万博記念公園駅除く) 島式ホーム 1番線・2番線
万博記念公園駅 島式ホーム(2面3線) 1番線・2番線・3番線・4番線

(2) 電車の現状

1編成4両・車両長 57.4m 8開口
1両・車両長(先頭車 14.8m、中間車 13.9m)



2. 設置する可動式ホーム柵の概要

(1) 可動式ホーム柵の仕様

- ① 腰高式 固定部:ホーム床面から約 1,350mm、可動部:ホーム床面から約 1,200mm
- ② 開口幅 2,000mm
- ③ ホーム部開口数 8開口/番線

(2) 可動式ホーム柵の動作概要

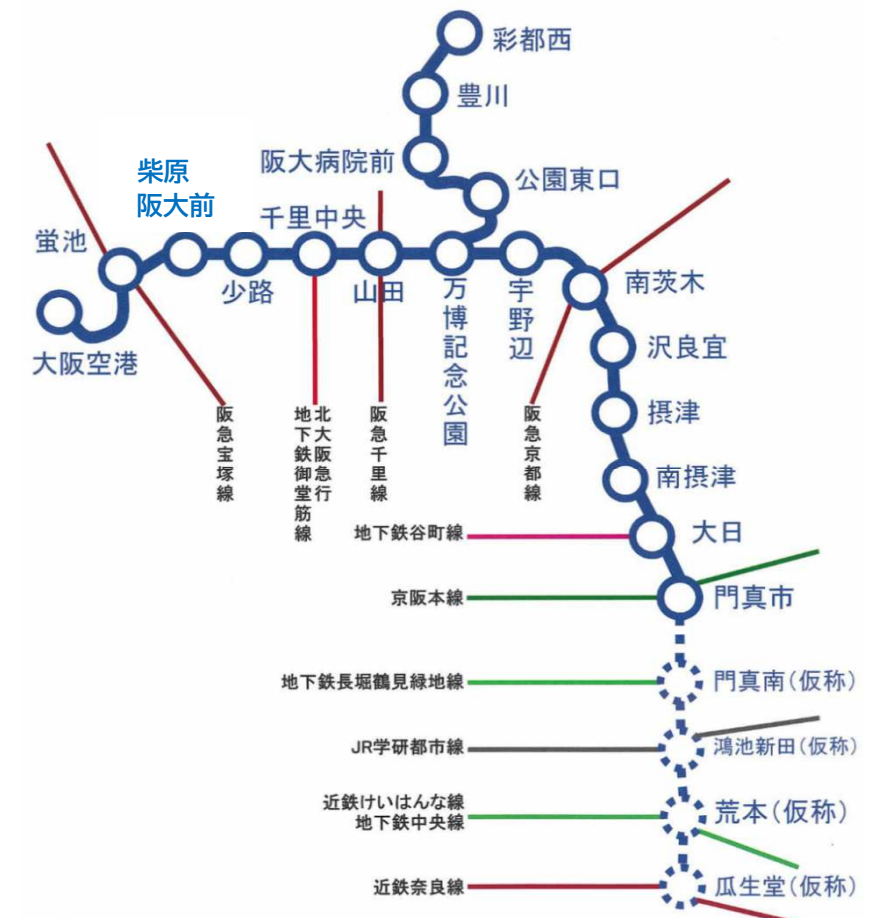
- ① プラットホームに電車が進入し、定位置停車を検知して自動的にホーム柵が開く
- ② 停止している電車が扉を閉めると、自動的にホーム柵は閉じる
- ③ ホーム柵開閉時には開閉音を出力する
- ④ 支障物検知を行う(3Dセンサ使用)
- ⑤ 戸ばさみ検知を行う
- ⑥ 異常時にはホーム柵上部にて状態表示灯を点灯させる

(3) 工期、運用開始時期および設置駅(豊中市内所在の5駅)

- 千里中央駅
設置済み 令和元年(2019年)3月21日より運用開始
- 蛍池駅
設置済み 令和元年(2019年)12月7日より運用開始
- 大阪空港駅
設置済み 令和2年(2020年)2月8日より運用開始
- 少路駅
設置済み 令和2年(2020年)10月31日より運用開始
- 柴原阪大前駅
工期:令和3年(2021年)6月~令和3年(2021年)8月
運用開始:令和3年(2021年)8月28日



大阪モノレール路線図



2029年開業目標

今年度で豊中市内の全駅に設置を完了しました。